

(平成 30 年 9 月 18 日発表)

2021 年の国際深海生物学会シンポジウム開催地に 静岡市が選ばれました！

◆ アピールポイント	静岡市に世界中から深海研究者が集まり、清水港や駿河湾を舞台に、最新研究を発表する学会（2021 年）の誘致が決定しました。国際海洋文化都市・清水が世界に知られる絶好の機会となることが期待されます。
◆ 内容など	<p>平成 30 年 9 月 10 日（月）から 14 日（金）にアメリカ・モンテレー市において開催された、第 15 回国際深海生物学会シンポジウム（主催学会名：Deep Sea Biology Society、シンポジウム名：The 15th Deep Sea Biology Symposium in Monterey、本部所在地：イギリス）において、次回 2021 年の第 16 回シンポジウムの開催地として本市が選ばれました。同学会の歴史において、アジアで初めての開催となります。</p> <p>本市での開催は、海洋研究開発機構（JAMSTEC）を始めとして、東海大学、香港大学の関係者と静岡市が連携して提案をしたものです。</p> <p>今回の決定により、今後、国際深海生物学会本部と JAMSTEC を中心とした開催提案者の間で、具体的な開催日程、開催方法等を詰め、2021 年にシンポジウムを開催していくこととなります。本市としても、世界から集まる海洋研究者を温かく迎え、円滑な運営を支援していきます。</p> <p>また、今回のような海洋関連学会の誘致についても、地域への経済波及効果、市民の海洋環境・科学等への関心・意識の拡大、海洋研究・イノベーションの活性化などに寄与するという観点から、今後も積極的に誘致を図っていく予定です。</p>

裏面資料 有

【問合せ】 静岡市経済局海洋文化都市推進本部

電話 054-354-2343

《参考情報》

(1) 国際深海生物学会および、同シンポジウムの概要

- ①学会名称： Deep Sea Biology Society (国際深海生物学会)
- ②特色： 深海生物を対象とした世界で最も著名な学術団体
- ③設立年： 1977年
- ④本部所在地： イギリス
- ⑤ホームページ： <https://dsbsoc.org/>
- ⑥会員数・構成： 世界36か国、約410名
- ⑦シンポジウム： 1977年の第1回開催以降、3年に1回開催され、2018年はアメリカ・モントレーで第15回が開催された。

(2) 第15回国際深海生物学会シンポジウムの概要

- ①期間： 2018年9月10日(月)～9月14日(金) 5日間
- ②開催地：アメリカ・モントレー市、モントレー市会議センターおよび近隣ホテル会議場
- ③ホームページ： <https://dsbs2018.org/>
- ④参加者：正会員(JAMSTEC、東海大学等を含む世界の海洋研究機関・大学等研究者)のほか、学生、その他関係者、約450名。(静岡市からは、海洋文化都市推進本部職員3名を派遣)
- ⑤概要：5日間の会期中、深海生物およびその生態系や、深海環境・地質や深海環境保全、調査技術、等を含む深海関連分野について、約300を超える口頭発表やポスター発表が行われた。また、多くの基調講演や、学会の総会、エクスカージョン(周辺視察・観光)、会員懇親会などが開催された。静岡市では、JAMSTEC、東海大学関係者と共に担当職員を派遣し、誘致のPR等を行い、参加者からも、本市への高い関心が聞かれた。

(3) 第16回国際深海生物学会シンポジウム開催地の選定について

- ①選出方法：立候補機関によるプレゼンテーションの後、学会会員による電子投票により行われた。投票結果は、開催地の公表のみで、具体的な票数は非公表。
- ②立候補状況：日本のJAMSTEC等が静岡市での開催を提案したほかに、フランス国立海洋開発研究所(IFREMER イフレメール)がフランス西部のプレスト市での開催を提案していた。
- ③本市での開催の意義：
飲食、宿泊、観光等の経済効果、海洋研究への関心が高い市民への効果の他、海洋研究にふさわしい都市と印象付けることで、さらなる海洋研究・イノベーションの促進が図られる。
アジアで初めての開催となり、深海研究のアジア地域への活性化に貢献することが可能となる。
世界に向けて、駿河湾、本市をアピールする機会となる。
- ④第16回シンポジウム開催に向けた取り組み：
開催方法は、今後、学会本部やJAMSTEC等が協議し、詳細を詰めていく。第15回と同様、平日5日間の開催、約500名の参加を想定している。開催エリアは、提案段階では、会議場、飲食・宿泊施設が集まるJR清水駅周辺を中心とした開催を提案している。清水港・駿河湾エリアの観光や、富士山の景色なども取り入れながら、世界の海洋研究者が快適に過ごし、日本の海洋研究への印象を強く感じることができると期待される。

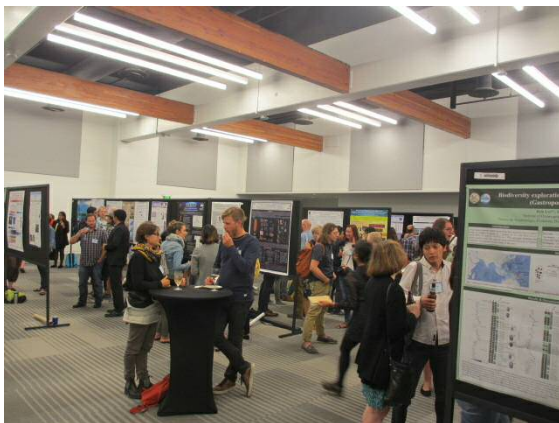
第15回シンポジウム（アメリカ・モンレー）の様子



会場となったモンレー会議センター



口頭発表会場の様子



ポスター発表会場の様子